



社会教育便り

幡多地区小中学校PTA連合会研究大会（四万十市大会）

令和元年11月17日（日）に四万十市立中村小学校体育館にて「幡多地区小中学校PTA連合会研究大会」が行われました。6市町村から約200名の参加があり、表彰行事、講演、実践発表が行われました。今後のPTA活動の活性化や子どもたちの健全育成につながるヒントを得ることができた研究大会となりました。

幡多地区小中学校PTA連合会表彰

【個人表彰】

宿毛市立小筑紫小学校PTA 田川 剛 氏 四万十市立中村中学校PTA 長崎 光正 氏
四万十市立中村南小学校PTA 松本 優香 氏 四万十市立藤岡中学校PTA 松田 和彦 氏
長年、小中学校のPTA活動にご尽力いただき、素晴らしい活動をされていることに対しまして感謝いたします。

香川大学医学部小児科医 鈴木 裕美 氏 講演

演題『子どもの「非認知能力」を育む大人の関わり』



子どもを育てる中で、「言われなければやらない」「やる気が無い」という子どもの状態に悩んでいる保護者の方はいるのではないのでしょうか。鈴木先生は講演の中で、非認知能力を伸ばす関わり方をする中で「やりぬく力」「自制心」「意欲」「積極性」「社会性」が身についてくる。非認知能力を伸ばすには、まず安定した3つの愛着「愛してほしい（愛情）」「見てほしい（関心）」「認めてほしい（前向きな注目）」を満たすことで「安心感」「信頼感」という能力を築く土台ができる。そして頑張った結果だけを認めるのではなく、その頑張ったり努力の過程で前向きな言葉がけをすることや、褒めるときなどは「何が・どう・よいのか」描写的に褒めることで脳内にドーパミンという物質が分泌され、嬉しくて次も頑張りたいという気持ちが強くなり非認知能力が伸びていく。ということを具体的に分かりやすく教えていただきました。会場には、小・中学校の保護者や先生だけでなく、保育園の先生や保護者の方もメモをとりながら参加されていました。

幡P連女性役員 実践発表

子どもが心身ともに健やかに成長するためには、「食」が大きく関係していることから、「食育」というテーマを掲げ、食の重要性を保護者や地域の方々に向けて情報発信を行い取り組んできたことについて発表がありました。

『食育を通しての子育て』取組内容

①学教給食メニューの掲示

「給食」を「食」について考えるきっかけにできるのではと考え幡多地区全域で実施

- ・6市町村31カ所（役場、スーパー、道の駅等）
- ・他の市町村の給食メニューも同時に掲示
- ・9月から2月まで毎月更新

②食育アンケートの実施 【自由記述】

＜学校給食メニューについて＞

- ・栄養があり、地産地消のメニューに安心します
 - ・給食だとあまり好きじゃない食べ物も残さず食べているので助かる
 - ・家で食べたことがないものを、給食でおいしかったから作ってと言われた
- ＜子どもの食事について工夫していることや取組について＞
- ・ワンプレートで出す ・温かいものを食べて体を温める
 - ・おみそ汁に野菜を入れる ・すぐに食べられるものをつくる
 - ・おにぎりを一口サイズにしてみる。中にウィンナーを入れてみる
 - ・一緒に作りたてをつまみ食いして、苦手なものが食べられるようになった

【保護者からの反応】

- ・夕食と重ならないようにできる
- ・夕食づくりの参考になった
- ・レシピがほしい
- ・取組を知っている46%（食育アンケートより）
- ・参考になった割合71%（食育アンケートより）



黒潮町立伊与喜小学校PTA

『伊与喜小学校PTAの取組』

- ・地域の方にPTA準会員になってもらい地域全体でPTA活動に参加してもらっている。児童数が減少する中、今まで取り組んできたことを「やめる」のではなく、内容の見直しをして少人数でもできる内容に変えて継続して行っている。
- ・地域と学校が一体となって子どもたちの成長に関わり、ますます地域との繋がりが強くなってきている。
- ・運動会・愛好作業・収穫祭・プール掃除・年間を通じて保護者や地域の方々や協働して子どもたちの教育活動に関わっている。

PTA 実践発表

三原村PTA連合会

『三原村Pの取組』

- ・三原小学校と中学校でそれぞれ行うPTA活動以外に、小・中PTA合同での活動も計画し実施している。
- ・運動会、草刈り作業、プール等の整備、選挙看板立て等
- ・女性役員が「じまんや」さんでの給食メニュー展示・配布
- ・家庭のルールづくりチェックシートから課題を確認し取り組んでいる。
- ・スマホやゲームの利用の仕方に関する→ノーメディア週間に月1回取り組んでいる。テレビやスマホなどを見ないで、家庭学習を学年×10分+10分以上行う。